

環境経営レポート

2019年度

(対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日)



2020/9/10発行

承認	作成
	
社長	管理責任者

未来へ伝える・つながる / Pネットワークのヒノックス

Telecommunications and Power Electronics
株式会社 ヒノックス

目次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名	1
(2) 所在地	1
(3) 代表者	1
(4) 管理責任者	1
(5) 連絡先	1
(6) 事業活動	1
(7) 事業規模	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
(1) 対象範囲	2
(2) レポートの対象期間	2
(3) レポートの発行日	2
(4) 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
(1) 基準値設定	4
(2) 中長期目標	4
5. 環境経営計画及びそれに基づき実施した取組内容	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
(1) 廃棄物排出量の削減	7
(2) 省エネルギー	10
(3) 二酸化炭素排出量の削減	12
(4) 水使用量の削減	14
(5) グリーン購入	15
(6) マテリアルバランス	16
(7) その他の取組	16
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	18
(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	18
(2) 違反、訴訟等の有無	18
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	19
10. 環境経営情報の開示	19

1. 組織の概要



(1) 事業所名

株式会社 ヒノックス

(2) 所在地

〒193-0835 東京都八王子市千人町2丁目12番5号

(3) 代表者

代表取締役 澤井 功

(4) 管理責任者

環境管理責任者 西村 幸男 (営業課)

(5) 連絡先

TEL : 042-665-3991 (代表)

FAX : 042-665-2223

URL : <http://www.hinox.co.jp/>

(6) 事業活動

電源機器（産業用スイッチング電源機器、インバータ電源機器等）及び情報システム機器（情報伝送機器、モデム、監視装置等）の開発、設計、製造、販売



(7) 事業規模

年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上金額	7億6390万円	7億6360万円	9億1523万円
従業員数	42名	42名	39名
床面積	1,606㎡	1,606㎡	1,606㎡

2. 対象範囲（認証・登録範囲）， レポートの対象期間及び発行日

（１）対象範囲

- ・対象組織：１．（１）、（２）に記載
- ・対象活動：１．（６）に記載

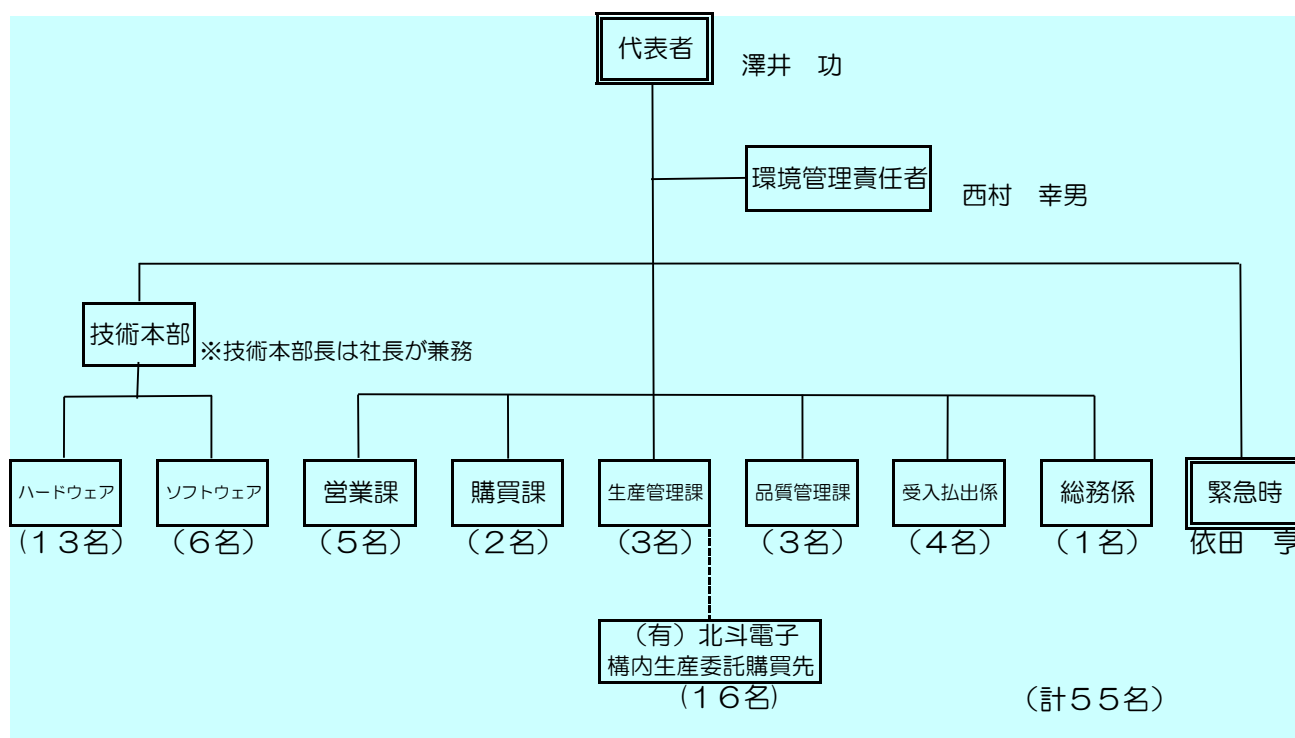
（２）レポートの対象期間

２０１９年４月１日～２０２０年３月３１日

（３）レポートの発行日

２０２０年９月１０日

（４）実施体制



氏 名	所 属	役 割
澤井 功	代表取締役	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
依田 亨	取締役	環境緊急事態対応責任者（緊急時の窓口）
西村 幸男	営業課	環境管理責任者、全体の把握・構築・運用、社長に報告
紺野 陽一郎	受入払出係	特別管理産業廃棄物管理責任者
神戸 祐子	総務係	環境負荷削減責任者、グリーン購入推進
全社員	各部門	環境経営方針・計画の理解と実施

3. 環境経営方針

基本理念

当社は、主に情報通信及びパワーエレクトロニクスの分野における独立したメーカーとして、業界に信頼されることを目指して、環境経営方針を定めて誓約し、全従業員に説明し、掲示し、周知徹底し、継続的に実行維持する。

行動指針

1. 事業活動で使用する資源やエネルギー消費量を削減する。
2. 事業活動から排出される二酸化炭素の排出量の削減及び廃棄物排出の抑制、再利用、再生利用を推進する。
3. 生物の多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な社会の構築に貢献拡大するために、地球温暖化に係わる事項を把握して温暖化防止に取り組む。
4. グリーン購入、環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。
5. 環境保全に関連する法規制等の遵守を誓約する。

2019年4月1日
株式会社 ヒノックス
代表取締役 澤井 功

4. 環境経営目標

(1) 基準値設定（2018年度実績）

項目	2019年度基準 総量実績値
廃棄物排出量	4,504(kg)
コピー用紙購入量	424(kg)
梱包材購入量	1830(kg)
二酸化炭素排出量	98,043(kg-CO ₂)
使用電力量	199,133(kWh)
ガソリン使用量	1,571(ℓ)
オーバーホール受注台数	84(台)
水使用量	515(m ³)
グリーン購入	購入比率85%以上

(2) 中長期目標

環境目標項目				2019年度		2020年度		2021年度	
廃棄物排出量	kg	前年比	総量	-1%	4,459	-1%	4,406	-1%	4,362
			削減量		-45		-44		-44
コピー用紙購入量	kg	前年比	総量	-1%	420	-1%	416	-1%	412
			削減量		-4		-4		-4
梱包材購入量	kg	前年比	総量	-1%	1,812	-1%	1,794	-1%	1,776
			削減量		-18		-18		-18
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	前年比	総量	-1%	97,063	-1%	96,092	-1%	95,131
			削減量		-980		-971		-961
使用電力量	kWh	前年比	総量	-1%	197,142	-1%	195,171	-1%	193,219
			削減量		-1,991		-1,971		-1,952
ガソリン使用量	ℓ	前年比	総量	-1%	1,555	-1%	1,539	-1%	1,524
			削減量		-16		-16		-15
オーバーホール 受注台数	台数	目標値	受注 目標値	同等	84	同等	84	同等	84
水使用量	m ³	前年比	総量	-1%	510	-1%	505	-1%	500
			削減量		-5		-5		-5
グリーン購入	円	目標値	総額	85% 以上	購入品総額	85% 以上	購入品総額	85% 以上	購入品総額

5. 環境経営計画及びそれに基づき実施した取組内容

項 目		2019年度取組内容	
1. 廃棄物排出量の削減	不燃・可燃ゴミ	①分別、再徹底	日常
		②削減の推進	日常
	コピー用紙	①両面印刷、両面コピーの推進、ミスコピー防止	日常
		②裏紙の使用、電子化、ペーパーレス化	日常
	梱包材	①梱包材の見直し	日常
		②梱包材の再使用、再生利用の推進	日常
2. 省エネルギー	使用電力量	①節電の啓発および省エネ(設備の確認)	日常
3. 二酸化炭素排出量の削減		②蛍光灯のプルスイッチによる間引き、清掃	日常
		③ITの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)、空調の使用	夏冬
		④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用	日常
		⑤事業活動において使用する設備(未使用時オフ)	日常
		⑥設備の電気使用量確認	日常
	ガソリン使用量	①エコドライブ(急発進、急加速、アイドリングストップ)	日常
②用途に合わせて公共交通機関の優先利用		日常	
	オーバーホール	①製品のオーバーホール営業活動	日常
		②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用	日常
4. 水使用量の削減	水使用量	①蛇口付近に節水の表示(自動水栓)	日常
		②生活用水以外は洗車など使用を控える	日常
		③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減	日常
5. グリーン購入の推進	購入量	①グリーン購入品の推進	日常
		②購入品目の拡大	日常
		③コスト把握で効果を計る	日常

6. 環境経営目標の実績

環境経営目標項目			基準値	2019年度目標	2019年度	
					実績	評価
廃棄物排出量	kg	総量	4,504	4,459	5,259	×
		削減量(率)	—	-45 (-1%)	+800(+17.8%)	
コピー用紙購入量	kg	総量	424	420	530	×
		削減量(率)	—	-4 (-1%)	+110(+27.5%)	
梱包材購入量	kg	総量	1,830	1,812	3,931	×
		削減量(率)	—	-18 (-1%)	+2,119(+117.7%)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	総量	98,043	97,063	94,335	○
		削減量(率)	—	-980 (-1%)	-2,728(-2.8%)	
使用電力量	kWh	総量	199,133	197,142	199,019	○
		削減量(率)	—	-1,991 (-1%)	+1,877(+0.9%)	
ガソリン使用量	ℓ	総量	1,455	1,555	1,342	○
		削減量(率)	—	-16 (-1%)	-213(-13%)	
オーバーホール	台数	総量	84	84 (同等)	82	○
		増減	—		-2	
水使用量	m ³	総量	515	510	486	○
		削減量(率)	—	-5 (-1%)	-24(-5%)	
グリーン購入	円	G購入額	174,522	購入比率 85%以上 = $\frac{\text{G購入額}}{\text{購入品総額}}$	198,554	○
		購入品総額	183,059 (95.3%)		199,416 (99.6%)	

* 二酸化炭素の排出係数

東京電力の調整後排出係数 = 基準：2018年度 0.474(kg-CO₂/kWh)

実績：2019年度 0.474(kg-CO₂/kWh)

* グリーン購入の実績 ※グリーン購入比率(%)=グリーン購入額(円)/購入品総額(円)

* 評価=○ 目標達成(5%以内) / 評価=△ ますます(6%~10%) / 評価=× 未達成(10%以上)

◎本年度は生産量(売上)が増えた為、梱包材を始め廃棄物、コピー用紙が増加傾向となりました。
 その中で、コロナウィルスの影響で外出が原則禁止となり、特にガソリンの使用量などは2、3月と減少しました。
 次年度は未達成の項目はもとより、全ての項目達成に向けて努力してまいります。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 廃棄物排出量の削減

評価=○	目標達成
評価=△	まずまず
評価=×	未達成

◇不燃・可燃ゴミ

- ① 分別の再徹底
- ② 削減の推進

◇特管産廃一時保管場所

◇一般廃棄物一時保管場所

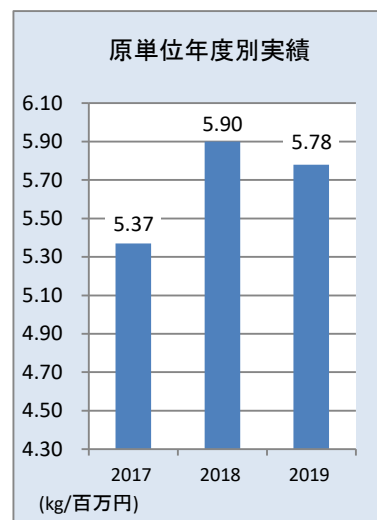
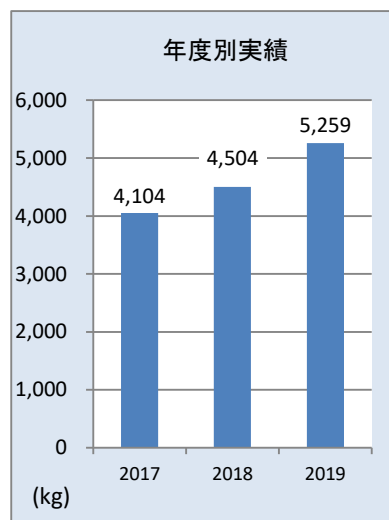
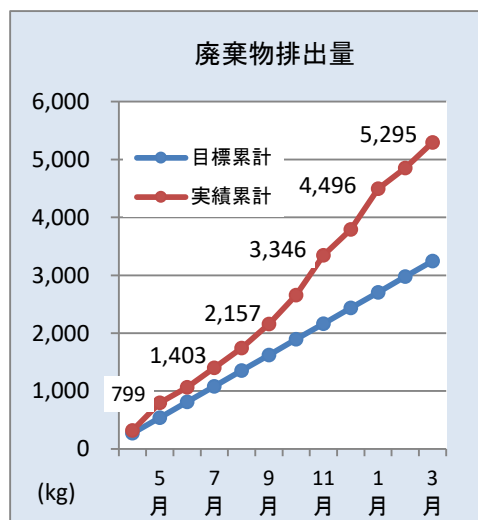


●取組結果とその評価

目標値	実績値
4,459	5,259

(単位：kg)

評価=【 × 】 目標値より755 kg増加



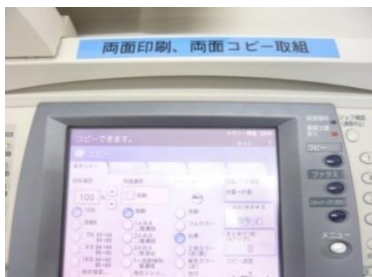
廃棄物排出量は、目標値より755 kg 増加となりました。
この要因は、大型発注が多数あり受注増加分による購入品の廃棄物が原因となりました。
ただし原単位では昨年度を下回ることが出来ました。

●次年度の取組内容

次年度もゴミ分別の徹底、引き続き購入品の廃棄物排出量削減を推進いたします。

◇コピー用紙購入量

- ①両面印刷、両面コピーの推進
- ②裏紙の使用

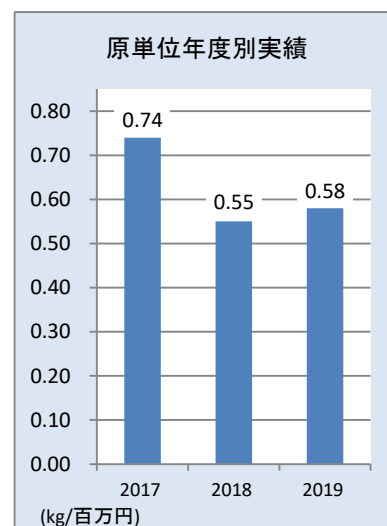
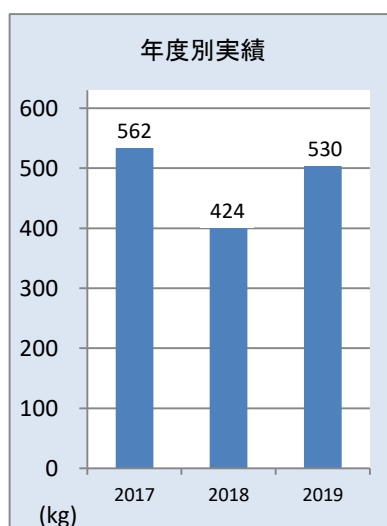
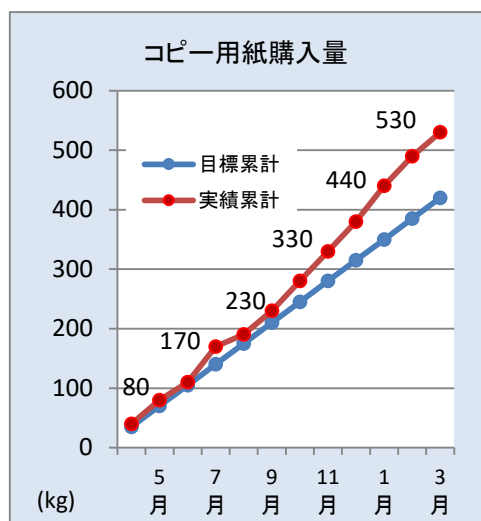


●取組結果とその評価

目標値	実績値
420	530

(単位：kg)

評価＝【 × 】 目標値より110kg増加



コピー用紙購入量は、目標値より110kg増加しました。
この要因は、受注増加分による添付印刷物の増刷が主な原因となりました。
ただし原単位では昨年度と比較すると少量の増加となりました。

●次年度取組内容

前年度同様に文書の電子化、裏紙の使用と両面印刷、両面コピーの取組を推進いたします。

◇梱包材購入量

- ① 梱包材の見直し
- ② 梱包材の再使用、再生利用の推進

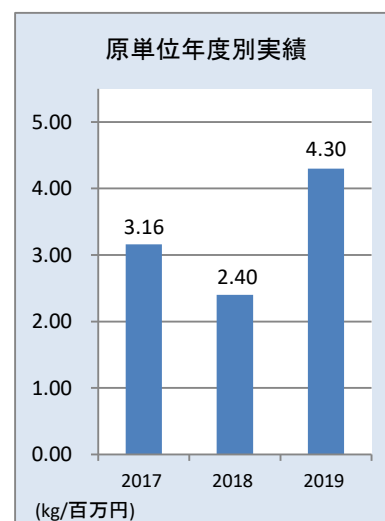
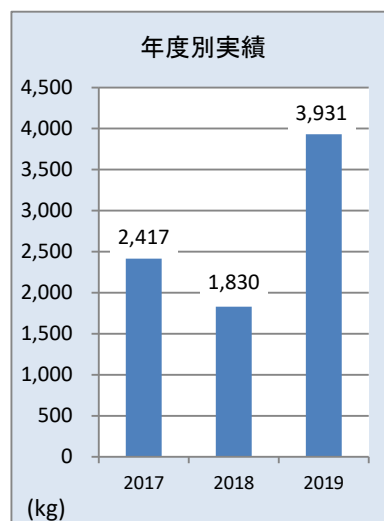
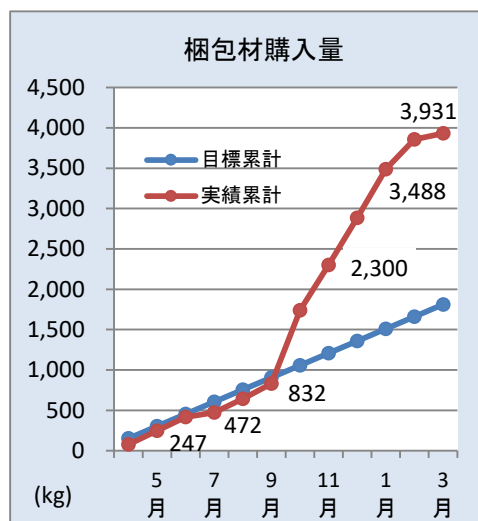


●取組結果とその評価

目標値	実績値
1,812	3,931

(単位：kg)

評価＝【 × 】 目標値より2,119kg増加



梱包材購入量は目標値より2,119kg増加しました。
この要因は大型発注が多数あり、受注増加分の製品の梱包材が原因となりました。

●次年度取組内容

梱包材の見直しや梱包材の再使用、再生利用を推進いたします。

(2) 省エネルギー

◇使用電力量

- ①節電の啓発
- ②蛍光灯のプルスイッチによる間引き
- ③エアコンの設定（冷房28℃ 暖房20℃）
- ④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用
- ⑤事業活動において使用する設備（未使用時オフ）
- ⑥設備の使用電力確認



製造設備（年間使用量）

リフロー	16,433kWh
はんだ槽	1,648kWh
除湿器	24,006kWh
コンプレッサー	3,916kWh

季節設備（年間使用量）

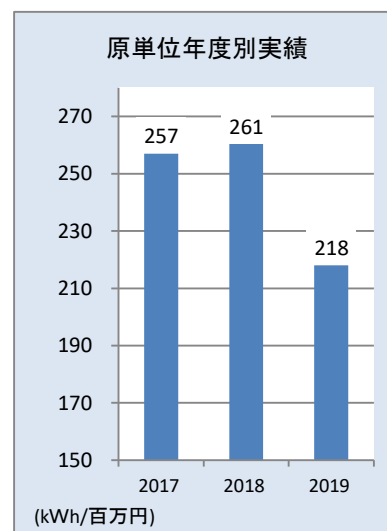
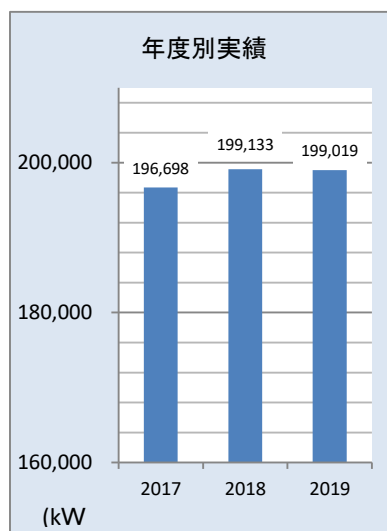
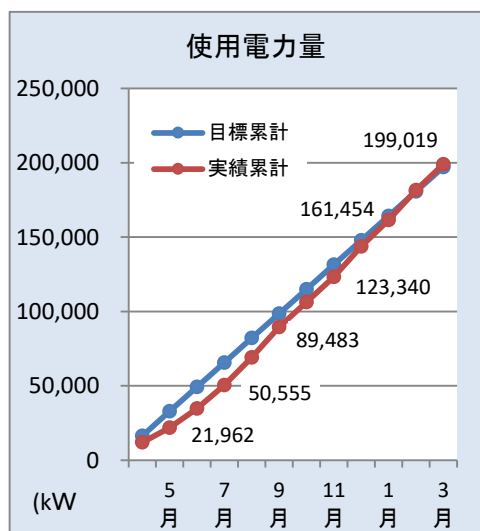
加湿器	6,643kWh
エアコン	27,823kWh
年間使用量合計	80,469kWh

●取組結果とその評価

目標値	実績値
197,142	199,019

（単位：kWh）

評価＝【 ○ 】 目標値より1,877kWh増加



使用電力量は、目標値より1,877kWh増加しました。
使用電力量の0.9%増は、生産増、夏期の猛暑などを考えると全社員の節電の意識、効果が表れた結果だと考えられます。原単位では大きな減少でした。

●次年度の取組内容

各設備の使用電力量の確認、見直しを行い、無駄な使用エネルギーを削減いたします。

◇ガソリン

- ①エコドライブ（急発進、急加速、アイドリングストップ）
- ②用途に合わせて公共交通機関の優先利用

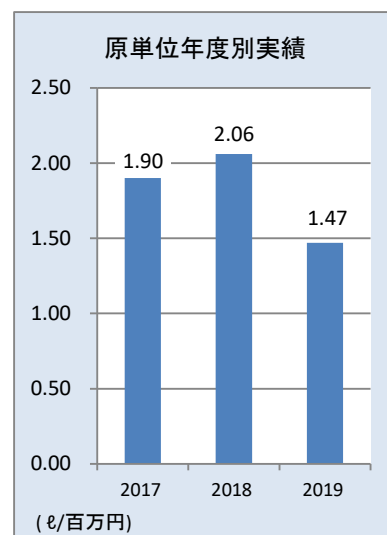
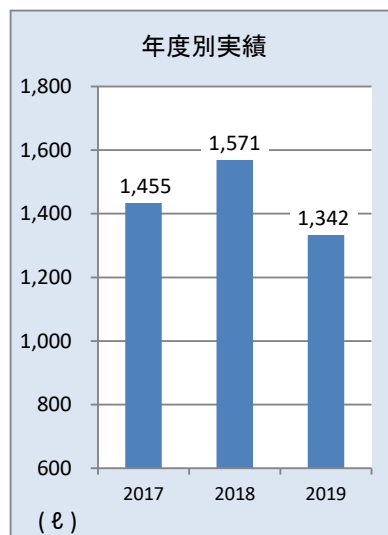
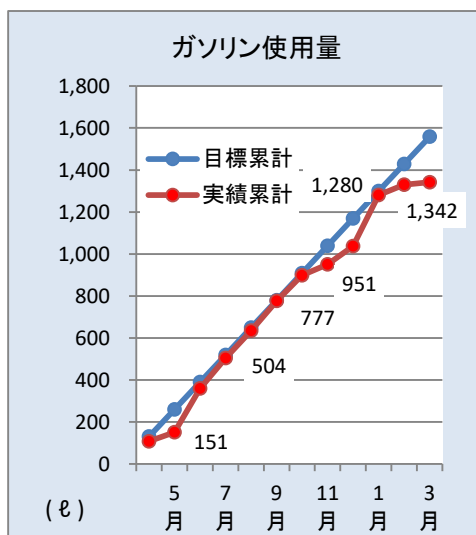


●取組結果とその評価

目標値	実績値
1,571	1,342

(単位：ℓ)

評価＝【 ○ 】 目標値より213ℓ減少

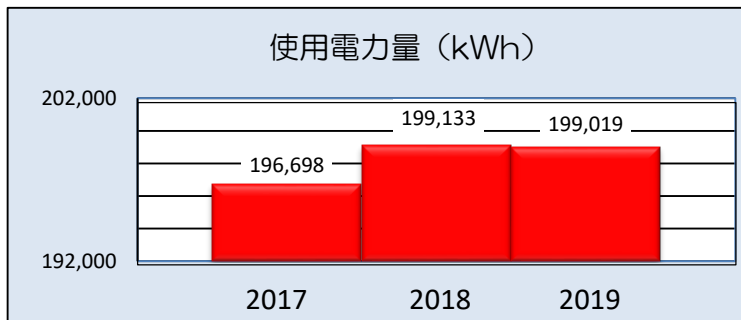


ガソリン使用量は、目標値より213ℓ（17.8ℓ/月）減少しました。
この主な要因は、コロナ過で外注先、お客様先への外出が原則禁止となりこの結果になりました。

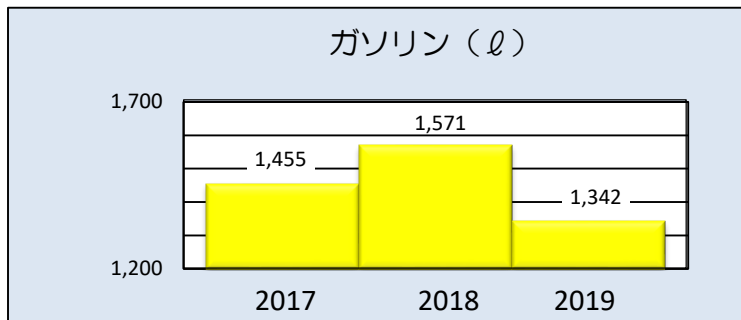
●次年度取組内容

引き続き用途に合わせて公共交通機関の優先利用とエコドライブを推進いたします。

(3) 二酸化炭素排出量の削減



使用電力量 (kwh)		
2017年度	2018年度	2019年度
196,698	199,133	199,019



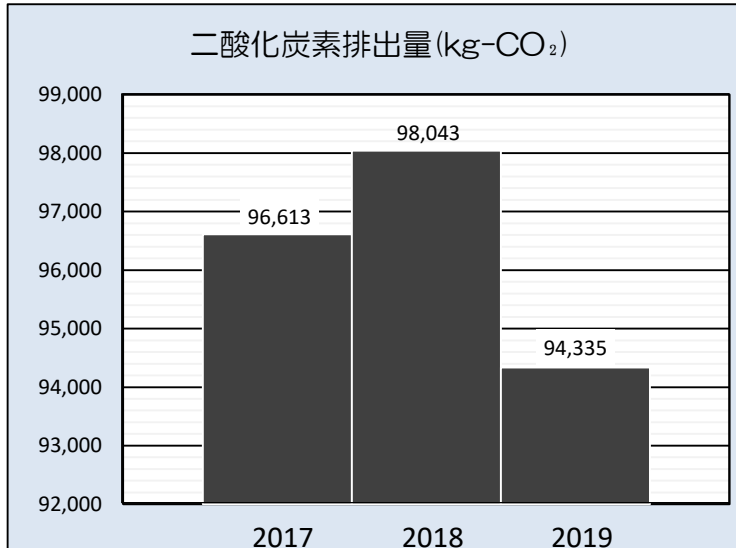
ガソリン (ℓ)		
2017年度	2018年度	2019年度
1,455	1,571	1,342

●取組結果とその評価

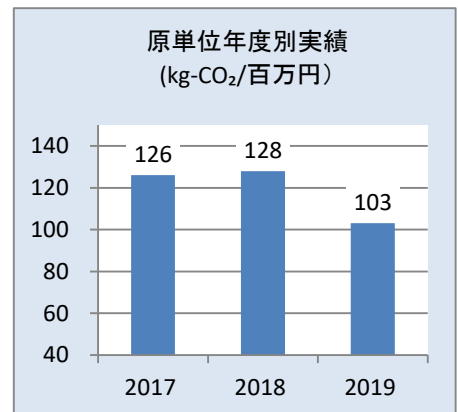
目標値	実績値
97,063	94,335

(単位: kg-CO₂)

評価=【 ○ 】 目標値より2,728kg-CO₂減少



二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		
2016年	2017年	2018年
91,278	96,613	98,043



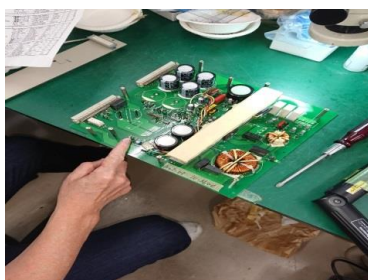
二酸化炭素の排出量は、目標値より2,728kg-CO₂減少しました。
この要因は、主にガソリンの使用量の減少が影響し、このような結果となりました。

●次年度取組内容

引き続き必要な使用電力以外は使用を控え、ガソリンの使用量についても削減いたします。

◇オーバーホール

- ①製品のオーバーホール営業活動
- ②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用

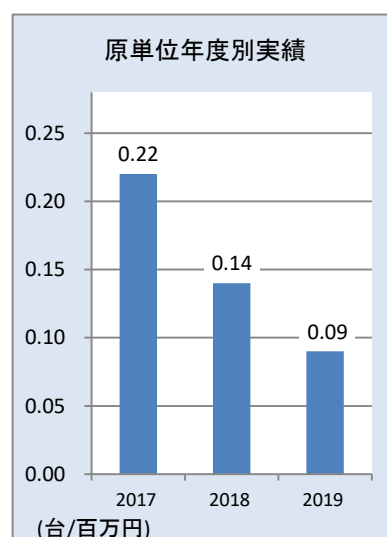
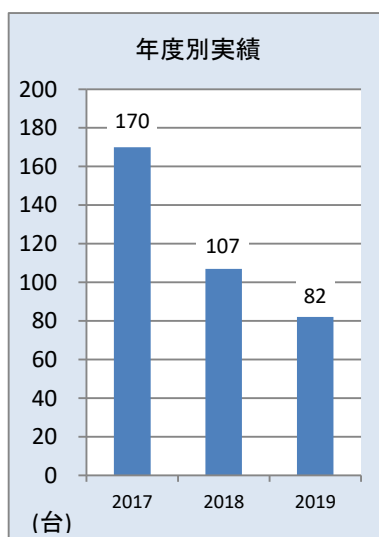
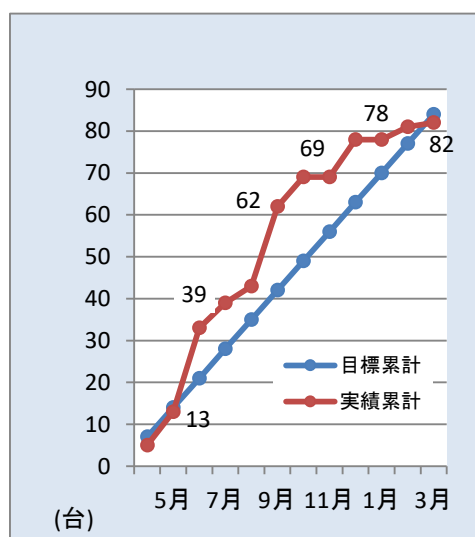


●取組結果とその評価

目標値	実績値
84	82

(単位：台)

評価＝【 ○ 】 目標値より2台減少



オーバーホールの受注台数は、目標より2台減少となりました。
2017年度に増加したために、その影響により減少傾向にあったかと考えられます。

●次年度の取組内容

オーバーホールの受注活動や、経年劣化部品を交換して可能な限り再使用する活動を継続いたします。

(4) 水使用量の削減

◇水使用量

- ①蛇口付近に節水の表示
- ②生活用水以外は洗車など使用を控える
- ③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減

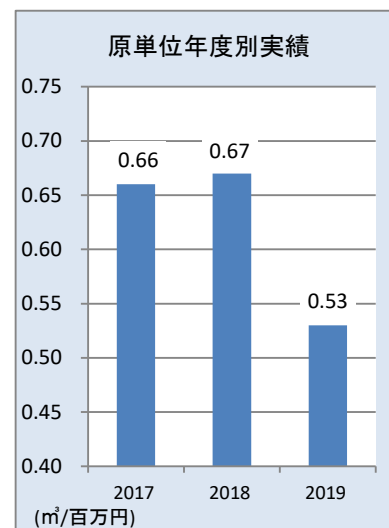
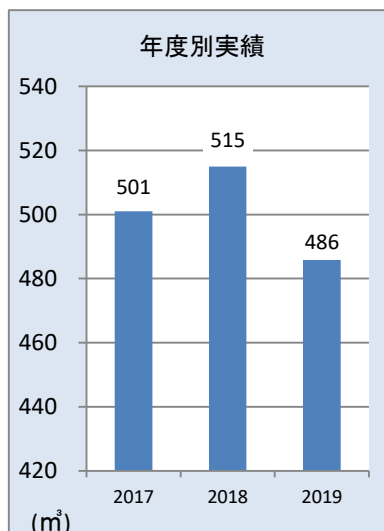
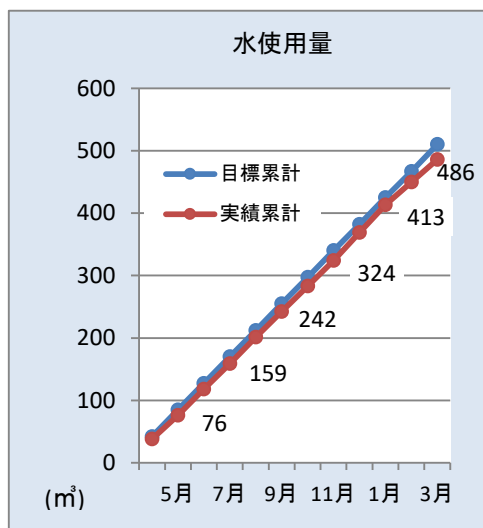


●取組結果とその評価

目標値	実績値
510	486

(単位：m³)

評価＝【 ○ 】 目標値より24m³減少



水使用量は、24m³の減少となりました。
この要因は、社員の減員があり全体的な減少傾向にありました。また、2月3月では、コロナ過による社員の出勤減が影響致しました。

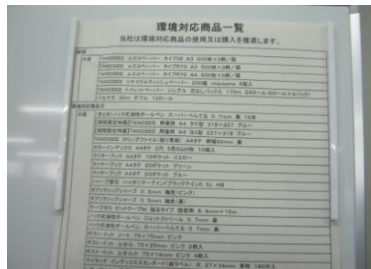
●次年度の取組内容

必要な生活用水以外、トイレの複数回流しや洗車など使用を控えるように推進いたします。

(5) グリーン購入

◇グリーン購入の推進

- ①グリーン購入品の推進
- ②購入品目の拡大
- ③コスト把握で効果を計る



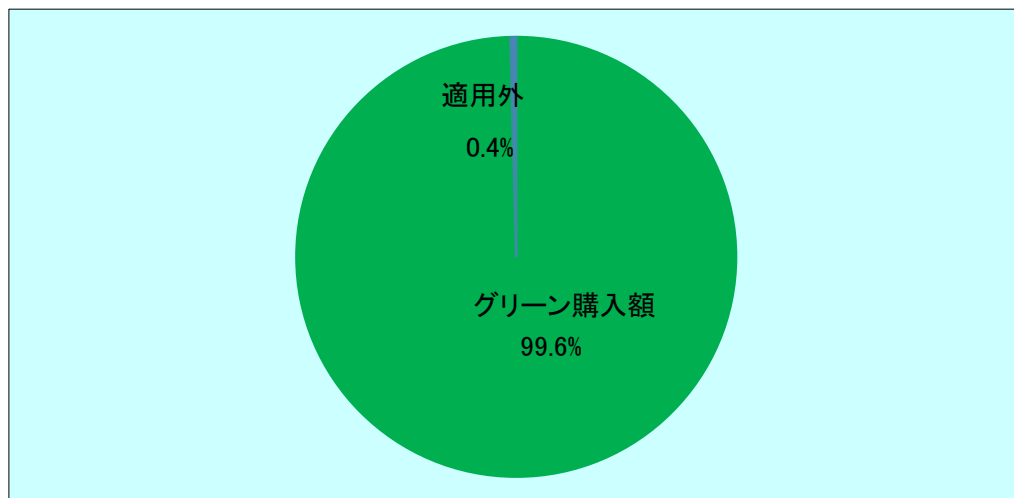
●取組結果とその評価

購入総額	グリーン購入額
199,416	198,554

(単位：円)

評価＝【 ○ 】 目標値より14.6%購入拡大
(目標値：購入総額の85%以上)

<グリーン購入比率>



グリーン購入の推進として、本年度も推進が進みに実績も99.6%となりました。購入品目のコスト面もしっかり把握することが出来ました。

●次年度の取組内容

グリーン購入品目の拡大と除外品の削減に取り組めます。

(6) マテリアルバランス

・インプット

2019年度は、受注量が増加し各項目が増加傾向にありました。その中で使用電力量、ガソリンの使用量、水（上下）は減少する結果となりました。

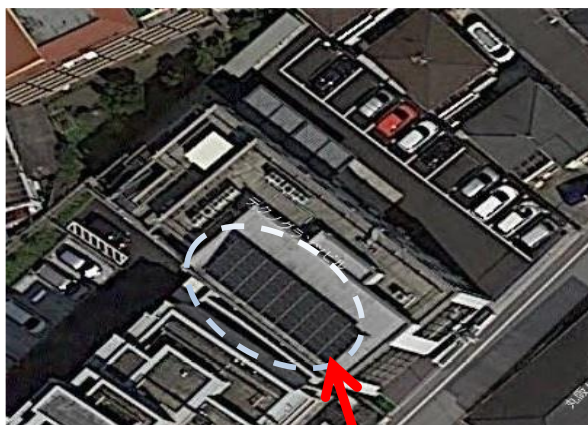
・アウトプット

2019年度の温室効果ガス総排出量は前年度比2.8%の減少となりました。

2019年度のインプット		⇒	2019年度のアウトプット	
調達材料		受注	製品	
・電子部品 ・機構部品	25,697kg 3,920kg	設計	・電子機器製品	28,136kg
製造調達		購買	廃棄物	
・半田 ・フラックス ・IPA	162.5kg 70kg 329ℓ (256kg)	製造	・産業廃棄物(リサイクル) ・金属 ・廃プラ	516kg 1,055kg
紙／梱包材		検査	・特別管理産業廃棄物 (リサイクル) ・廃液 (IPA、フラックス)	351kg
・コピー用紙 ・梱包材 (段ボール)	530kg 3,931kg	事務	・一般廃棄物 ・段ボール ・一般紙 ・空き缶類 ・その他可燃	2,193kg 508kg 85kg 505kg
エネルギー		梱包	CO2排出量	94t-CO ₂
・使用電力 ・ガソリン ・太陽光発電	199,019kWh 1,342ℓ 12,078kWh	出荷	排水(生活用水)	486m ³
水(上下)	486m ³	運搬		

(7) その他の取組

◇太陽光発電



弊社ビル屋上へ設置の太陽光パネルです。



2019年度の年間太陽光発電積算量は、12,078kWhとなりました。この数値は4月度の電気使用量と同等の発電量です。少量ながらも温室効果ガスの排出量削減と長期的な発電効果ができました。

◇環境情報の掲示



環境方針、環境目標を掲示
環境目標計測グラフは集計後に貼り換えて掲示

◇取引先廃棄物会社の視察



特管産廃管理責任者の同行にて産廃処理会社の視察

◇地域周辺との環境コミュニケーション活動



近隣の浅川土手沿いのゴミ拾い、美化活動の取組み

地域の防災訓練へ参加

◇環境上の緊急事態の訓練



緊急事態に備えて消火器設置場所等の確認

◇生物の多様性の保全（鳥獣の保護）



ツバメが2羽が無事に巣立ちました

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令・条約等	要求事項	適用施設・物質等	確認日	担当	遵守状況確認	評価
廃棄物処理法	◆保管基準 ・ 掲示板：60cm角以上 (種類、氏名、連絡先)	(金属、廃プラスチック) ・ 特別管理産業廃棄物 (IPA<イソフタル酸>鉛半田)	19.08.21	環責	・ 掲示板 (産廃、特管、保管場所)	○
	・ 飛散等防止 (飛散、流出、浸透、悪臭)		19.08.21	環責	・ 飛散等防止 (保管場所)	○
	・ 衛生管理 (害虫発生防止)		19.08.21	環責	・ 害虫発生防止 (保管場所)	○
	◆委託契約 ・ 産業収集、 特別産廃収集運搬業者		19.08.21	環責	・ 産廃：委託業者と再契約 ・ 特管：委託業者と継契約	○
	◆特別管理産業廃棄物管理責任者の設置		19.08.21	環責	・ 特別管理産業廃棄物 管理責任者(受入払出係)	○
	◆マニフェスト交付、知事提出、写し保管		19.08.21	環責	・ 産業廃棄物管理交付等 状況報告書	○
フロン排出抑制法	◆業務用エアコンの簡易点検実施	・ エアコン内外機	19.08.21	総務	・ 定期的に点検	○
東京都環境確保条例	◆工場設置（知事許可） ◆適正管理化学物質	・ 工場設置許可証 ・ 適正管理化学物質の使用量 等報告書	19.08.21	総務	・ 基準遵守	○
東京都火災予防条例	◆指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱	・ IPA(第4類引火性液体)	19.08.21	環責	・ 貯蔵所、作業場所で取扱	○
	◆少量危険物貯蔵取扱所の位置、構造及び設備		19.08.21	環責	・ 基準遵守	○

(2) 違反、訴訟等の有無

当社が適用する環境関連法規制について、環境マニュアルに規定する「環境関連法規制・条例・その他の規制登録表」により2019年4月1日から2020年3月31日までの状況を確認した結果、関係当局から違反等の指摘は有りませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価

今年度の結果は、売り上げが約20%増加している事を考えると、かなり活動の結果が出ていると判断できる。

廃棄物が増加したのは、受注内容に関係しているのではやむを得ない。しかし、電力量が夏の猛暑と受注量増加にもかかわらず、ほぼ横ばいになったことは、活動の成果として、非常に有意義だったと考える。また、コロナ禍があったとはいえ、ガソリン使用量の減少も活動の成果だと判断でき、最も大切な二酸化炭素排出量が売上増加の中において減少したのは大きな活動成果だと判断する。

次年度の取組

次年度の売り上げは今年度よりさらに増加する事がよそうされる。2020年度の目標値は前年同様に1%の引き下げとしたが、現実的には今年度と同様になれば、かなりの活動成果になると考える。

本レポートにある各項目の次年度の取り組みを、社内に再度徹底し励行する。

2020年5月28日
株式会社 ヒノックス
代表取締役 澤井 功



平成27年に10年継続
記念の盾を戴きました。

10. 環境情報の開示

2005年度より、当社ホームページで開示。 アドレスは ↓ ↓

URL: <http://www.hinox.co.jp/ecoaction/>

または、エコアクション21中央事務局ホームページの環境レポートは ↓ ↓

URL: <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0000404.pdf>

以上